

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI川崎戸手

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	法令遵守を行い、十分なスペースを確保している。また、常に怪我などに注意を払っている。
	2	職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。当事業所は指導員4名がすべて常勤のため、体制は整っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っている。（入り口にスロープ、トイレに入って車椅子対応の手すりがついている等）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日掃除を行い清潔な空間作りを行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	お子様の受け入れ前、支援後の2回、お子様のミーティングを行っている。指導員全員でミーティングを行うことで共通意識をもって支援できるようにしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	毎回フィードバックを行い、児童の様子を伝えるとともに、保護者様と児童の様子や要望などを伺うように心がけている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	HPIに公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	外部研修に参加し、社内研修は空き時間を利用して、運動内容や創作内容についての話し合いや研修を行い、療育内容の向上につなげている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が普段のミーティングから、お子様の様子・保護者様の意向などを共有している。日々のミーティングを踏まえたうえで、個別に支援計画ミーティングを行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI川崎戸手

	チェック項目	改善目標や工夫している点
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	児発管と保護者の話し合いを行い、適切に選択し具体的な支援内容を設定している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	支援計画の内容は指導員が共通認識で心掛けている。支援期間に、新たに出た課題や要望なども取り入れつつ支援を行っている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	ミーティングなどで共有を行っている。お子様の様子次第で、その日の担当者が臨機応変にプログラムを変えることもある。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	活動プログラムに関しては、お子様の課題に合わせて、飽きないように創意工夫を行っている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	基本的には小集団での支援を行っているが、課題に合わせて個別で分かれて支援を行ったりと創意工夫をしている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出し、次の支援につなげている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	独自の一日の情報記録用紙（子どもの一言情報）に記入し、次回の支援につなげている。
	20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	契約後、6か月以内に定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	現状は、児童相談支援事業所と電話でのやり取りを行っている。
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	現状では行えていない。連携が必要とされれば必要に応じて検討いたします。	
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様を通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。	

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI川崎戸手

		チェック項目	改善目標や工夫している点
関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様が通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	現状としては、まだ対象者が少ないが、保護者様からの要望に応じて、個人情報に留意しながら、情報共有などを行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	現状としては、対象者が少なく、要望などがあれば必要に応じて行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	療育センターや他事業所とは必要に応じて、情報のやり取りを行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	特に検討していないが、今後必要に応じて検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	今まで参加したことはないが、協議会の内容や職員の勤務体制などにより、参加を検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。また、随時保護者からのご意見ご要望に対応できる体制を保護者へ周知している。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	現状としては実施の予定はないが、要望があれば検討をしていく。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。また常に質問に答えられるように体制を整えている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	児発管が支援計画を作成・説明を行い同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できなときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI川崎手

		チェック項目	改善目標や工夫している点
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	保護者様からの要望が強ければ、検討を行う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	相談などは随時、対応している。日々のフィードバック、電話相談、児発管との面談などの体制を整備している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	スケジュールのお伝えは実行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	お子様に関しては、視覚支援や情報量など個人に合わせた支援を心掛けている。また、保護者様には特別な配慮が必要な方は現状いないが、重要な情報に関しては、口頭と書面の両方でお伝えしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	定期的に保護者様へ向けての資料配布、お子様に対して訓練・共有等の周知を行っている。また、マニュアルなどはファイリングを行い、いつでも見られるようにしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年2回、地震や火事を想定して実施。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約面談時のフェイスシートと面談により確認している。変更があった場合は 随時情報提供していただいている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約面談時のフェイスシートと面談により、食物アレルギーについては詳しく聴取し、一覧表を鍵のかかるロッカーの中に張り出し、イベント時に提供するお菓子にはアレルギー源を含むものは提供していない。今後必要に応じ医師の指示書の必要性を検討していく予定。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。スタッフがいつも見れる場所にヒヤリハットファイルを置いている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的に児発管・指導員の全員で研修を行っている。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI川崎戸手

	チェック項目	改善目標や工夫している点
47	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p>	<p>身体拘束同意書を用いて説明を行い、同意を承諾していただいている。支援としての身体拘束は行わないが、危険な場合の介入について等、保護者様に説明し、理解を頂いている。 今現在、当事業所において拘束等は行われていない。</p>

保護者からの児童発達支援におけるアンケート集計結果（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI川崎戸手

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	0	0	0	整理整頓されていて綺麗です。 天井も高く開放的	今後も継続して参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	32	1	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	27	4	0	2		
適切な支援の	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	31	0	0	2		
	5 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	0	0	3		
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	3	0	1		

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
提供	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29	4	0	0	毎時間、その時の状況によって、変更・工夫して頂いている。 色々なプログラムがあり、得意も苦手も伸びるように考えられている。 跳び箱などの就学に向けた運動がもう少し増えてほしい。	クールに合わせたレッスンを心掛けています。お子様の状況を見て臨機応変に内容変更・工夫をスタッフ一同さらに意識してまいります。 可能な限りで要望を取り入れさせていただきたいと思っております。
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	8	7	#		
保護者	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	1	0	0		
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	29	1	0	3		
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	15	7	7	4	ここが苦手で、ここが出来ているというのを親にも分かりやすく伝えてくれる。	引き続き、保護者様にもしつかりと伝わるように、分かり易いフィードバックを心掛けて参ります。
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	27	4	0	1	共通理解をもって意識したトレーニングをして頂いていると思う。	今後もスタッフと保護者様の意向をすり合わせながら共通理解をもって支援を行いたいと思います。
	13 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	9	1	4	活動後の話す時間が、もう少し欲しい。	フィードバックの時間以外にも、面談など行える時間もありますので、いつでもご相談下さい。

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
への説明等	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	#	7	#		
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28	2	1	2		
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	4	0	3		
	17 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	9	6	9	SNSなどのアプリで出欠席、行事予定があれば忘れることなく利用しやすいと思う。 あると嬉しいです。	貴重なご意見を頂き、有難うございます。検討させていただきます。
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	26	5	0	2		
非常時等の対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	18	7	3	5		
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	9	4	6		

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	28	3	0	2	<p>いつもとても楽しく通っています。</p> <p>先生やお友達が大好きで、苦手だった体を動かすことが、とても好きになっている。</p> <p>一緒に行うメンバーが変わってから、お休みをする機会が増えてしまったが、楽しく通っている。</p>	<p>大変嬉しいお言葉、ありがとうございます。</p> <p>ペア組みに関しまして、至らないところがあり、申し訳ございません。引き続き配慮をし、支援を行えたらと思います。</p>
	22	事業所の支援に満足しているか	29	3	0	1	<p>大変満足。</p> <p>先生方、皆さん優しく、親も安心して通わせてられています。</p> <p>分かり易い指導で、こちらに通わせて良かったと思う。</p> <p>送迎があると助かる。</p>	<p>大変嬉しいお言葉、ありがとうございます。今後も満足していただけます様、職員一同、尽力致します。</p> <p>現時点で、送迎を行う予定はございません。ご要望にお応えできず申し訳ございません。</p>

事業所における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI川崎戸手

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	法令遵守を行い、十分なスペースを確保している。また、常に怪我などに注意を払っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。当事業所は指導員4名がすべて常勤のため、体制は整っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っている。（入り口にスロープ、トイレに入って車椅子対応の手すりがついている等）
業務改善	4	業務改善を進めるためのP D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	お子様の受け入れ前、支援後の2回、お子様のミーティングを行っている。指導員全員でミーティングを行うことで共通意識をもって支援できるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	アンケートという形は少ないが、日々のフィードバック・面談などで保護者様の意向を聞く時間が設けられている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	HPで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていない。今のところ予定はないが必要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修に参加し、社内研修は空き時間を利用して、運動内容や創作内容についての話し合いや研修を行い、療育内容の向上につなげている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が普段のミーティングから、お子様の様子・保護者様の意向などを共有している。日々のミーティングを踏まえたうえで、個別に支援計画ミーティングを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児発管と指導員が話し合い、プログラムの立案を行っている。また、子どもの直近の様子なども考慮し立案している。

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	活動プログラムに関しては、お子様の課題に合わせて、飽きないように創意工夫を行っている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	当事業所は、長期休暇時もサービス提供は平日と特段変わりがないため、基本同じ内容、流れで実施している。長期休暇期間にはイベントを実施している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	基本は小集団でのレッスンだが、その中でも必要に応じて、お子様に合わせた個別で行うメニューなどを設けている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援前に前回の様子なども踏まえた最新の情報を共有している。また、支援中の役割分担などもその際に細かく決めている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出し、次の支援につなげている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	独自の一日の情報記録用紙（子どもの一言情報）に記入し、次回の支援につなげている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的に保護者との面談を行っている。それをもとに児発管・指導員がミーティングを行い、計画の見直しを行っている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	総則通り行っている。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	現状は、児童相談支援事業所と電話でのやり取りを行っている。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校での様子確認、支援の方向性のすり合わせなどの為に、必要に応じて行っている。

	チェック項目	改善目標、工夫している点など	
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様が通所していないが、今後受けれる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課後等デイサービスや保険対象外の療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば対応している。今後、必要に応じ検討していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在、放課後デイサービスを卒業した事例がないが、保護者からの要望に沿って資料の提供を子なう予定である。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	当事業所と距離的に近い療育センターとは情報のやり取りを行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。今後は必要性に応じて検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	自立支援協議会への参加は出来ていない。必要に応じて検討する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
保護者への説明書	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	現状としては実施の予定はないが、要望があれば検討をしていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しているが、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。また、常に質問に答えられるように体制を整えている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できなときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者様からの要望が強ければ、検討を行う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているつもりであるが、必要に応じて、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口を設置することを検討していく。
非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	スケジュールのお伝えは実行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	お子様に関しては、視覚支援や情報量など個人に合わせた支援を心掛けている。また、保護者様には特別な配慮が必要な方は現状いないが、重要な情報に関しては、口頭と書面の両方でお伝えしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在は行っていないが、必要に応じて検討する。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	定期的に保護者様へ向けての資料配布、お子様に対して共有等の周知を行っている。また、マニュアルなどはファイリングを行い、いつでも見れるようにしている。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年、2回の訓練を実施している。実施が行えなかったお子様・保護者様には、資料配布をし認知して頂いている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	定期的に児発管・指導員の全員で研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束同意書を用いて説明を行い、同意を承諾していただいている。支援としての身体拘束は行わないが、危険な場合の介入について等、保護者様に説明し、理解を頂いている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーに関しては、契約時に情報として頂いている為、指導員間で情報共有をしている。現状、飲食提供は行っていないため特別な対応をする機会がない。

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度、記録を行い、全員で振り返りで共有している。再発防止及び未然に防ぐ対策案を全員で考えている。

保護者からの放課後等デイサービスにおけるアンケート集計結果（公表）

2021年度期

事業所名：TAKUMI川崎戸手

A：はい Bどちらともいえない C：いいえ D：わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	0	0	0	他の放課後デイと比べて、運動療育ということもあり、配慮されていると感じる。	・引き続き、配慮をして参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23	0	0	0	各先生の専門分野が分かると相談しやすい 質問をした際に、知識にばらつきはあるが、誰に聞いても子供のことを考えた回答を頂ける為、大変助かっています。	ご相談がある際は、フィードバックの時間以外にも、お時間をとることができます。いつでもご相談下さい。 お子様の情報、レッスンの様子は常に共有しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	6	0	0		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	22	1	0	0		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	21	2	0	0	最近は運動のゲームが多く、学校体育のような運動の時間が少ないように感じる。	ご意見ありがとうございます。可能な限り、ご要望にお応え致します。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	9	#	0		
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	0	0	0		

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	3	0	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	#	#	0	コロナで不可能	現状、コロナ禍ということもあり、機会を設けておりません。ニーズが多いようでしたら検討致します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	9	1	1		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	7	7	0		
	14 個人情報に十分注意しているか	21	2	0	0		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	7	1	0	現状でも特に問題はな いです。	定期的に書面でお渡し、クールにて実施を行っています。資料をまとめたファイルが、いつでも見れるように保管しております。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	8	3	0		

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	23	0	0	1	毎週通う曜日になると今日はTAKUMI?と聞いてきて行くのを楽しみにしている。 他の放課後デイより楽しく通っています。空きがあればもっと通いたい。	嬉しいお言葉ありがとうございます。お子様たちに楽しく通える場所として引き続き継続して参ります。
	18	事業所の支援に満足しているか	19	4	0	0	他の療育より支援が手厚い 教室が増えていただけると嬉しいです。	小集団でのレッスンなので、それぞれのクールに合わせた支援を心掛けています。 お住まいの近くに新規教室が出来る際には、お声かけさせていただきます。